

[S&P] 日本船主責任相互保険組合のアウトルックを「ポジティブ」に変更、格付けは「BBB」に据え置き

2024年7月31日

- 日本船主責任相互保険組合では厳格な保険引き受け方針や継続的な保険料率引き上げを通じて収益性が大きく改善しており、資本水準が強化されている。
- 同組合の保険財務力格付けと長期発行体格付けを「BBB」に据え置いた。
- 同組合が堅実な収益性を維持しつつ、さらに資本水準を強化していく可能性があるとのS&Pの見方に基づき、両格付けのアウトルックを「安定的」から「ポジティブ」に変更した。

(2024年7月31日、東京=S&P) S&P グローバル・レーティング (以下「S&P」) は本日、日本船主責任相互保険組合の保険財務力格付けと長期発行体格付けのアウトルックを「安定的」から「ポジティブ」に変更し、両格付けを「BBB」に据え置いた。

アウトルックの見直しは、同組合が今後2年間にさらに自己資本の十分性を強化していく可能性があるとのS&Pの見方を反映している。同組合は過去数年で、保険引き受けを厳格化し、更改時の保険料引き上げを実施することなどを通じて、収益性を改善させてきた。また、円安を背景に資産運用収益も大きく増加したことから、2024年3月期の当期純利益は約68.6億円と、S&Pの予想を超えて大幅な増益となった。この結果、同組合のフリーリザーブ（純資産+異常危険準備金）の積み上げが大きく進んでいる。S&Pは同組合が保険引き受けと資産運用において引き続き強固なリスクコントロールを維持していくと想定している。

「ポジティブ」のアウトルックは、同組合が今後2年間、堅固な収益性を維持しつつ、資本水準をさらに高めていく可能性があることとS&Pがみていることを反映している。

同組合が資本水準を99.99%の信頼水準を超える水準まで安定的に改善させた場合、格上げを検討する。また、同組合が良質な顧客基盤に支えられた堅固な収益性を維持しつつ、99.95%の信頼水準に対して十分な資本バッファを安定的に維持し続けた場合にも、格上げを検討する。

一方、大口クレームの発生などにより同組合の自己資本水準が低下した場合には、格下げする可能性がある。

お問い合わせ先:

向山健太郎

東京

81-3-4550-8775

kentaro.mukoyama

@spglobal.com

恵村甲子朗

東京

81-3-4550-8307

koshiro.emura

@spglobal.com

格付けと評価スコア

保険財務力格付け	BBB/ポジティブ
アンカー値	bbb
事業リスクプロフィール	適切・上位
保険業界のカントリーリスク評価	リスクは中程度
事業競争力	中程度
財務リスクプロフィール	適切・上位
自己資本と収益性	強い
リスクエクスポージャー	やや高い
資金調達構造	中立
調整要素	0
ガバナンス	中立
流動性	極めて高水準
類似格付け分析	0
支援	0
グループによる支援	0
政府による支援	0

関連格付け規準

2023年12月14日付 格付け規準 | 保険会社 | 一般：保険会社のリスクベース自己資本の十分性——手法と想定

2021年10月20日付 一般格付け規準：信用格付けにおける環境・社会・ガバナンス（ESG）の原則

2019年8月30日付 格付け規準 | 保険会社 | 一般：保険会社の格付け手法

2011年3月2日付 一般格付け規準：信用格付けの原則

関連リサーチ

2024年1月16日付 日本船主責任相互保険組合を「BBB」に据え置き、アウトルックは引き続き「安定的」——保険会社の自己資本モデル規準改訂をうけて

2023年7月28日付 日本船主責任相互保険組合を「BBB」に据え置き、アウトルックは引き続き「安定的」

格付けリスト

日本船主責任相互保険組合

アウトルック変更、格付け据え置き

新	旧	
BBB/ポジティブ/--	BBB/安定的/--	発行体格付け
BBB/ポジティブ	BBB/安定的	保険財務力格付け

*本格付に関する適時開示事項（金融商品取引業等に関する内閣府令第三百十三号第三項第三号）は、S&P グローバル・レーティング・ジャパン株式会社のウェブサイトの「ライブラリ・規制関連」>「信用格付けの概要（SPRJ）」（www.spglobal.co.jp/pcr）でご参照いただけます。

S&P グローバル・レーティングの格付けについて：

S&P グローバル・レーティングが提供する信用格付には、日本の金融商品取引法に基づき信用格付業者として登録を受けている S&P グローバル・レーティング・ジャパン株式会社が提供する信用格付（以下「登録格付」）と、当該登録を受けていないグループ内の信用格付業を行う法人が提供する信用格付（以下「無登録格付」）があります。本稿中で記載されている信用格付のうち「※」が付されている信用格付は無登録格付であり、それ以外は全て登録格付です。なお、S&P グローバル・レーティング・ジャパン株式会社が提供する信用格付の一覧は同社の日本語ウェブサイト（www.spglobal.co.jp/ratings）の「ライブラリ・規制関連」で公表しています。

本レポートで使用されている一部の用語、特に格付け関連要因に関する S&P の見解を示す一部の形容詞は、S&P の格付け規準において特定の意味を持つため、格付け規準と併せて読まれるべきです。詳細については www.spglobal.co.jp/ratings の「格付け規準」をご覧ください。S&P Global Market Intelligence の日本語情報サービス商品（年間契約制）である Research Online（リサーチ・オンライン）の購読者はすべての格付け情報を www.researchonline.jp で閲覧できます。本格付けアクションの影響を受けるすべての格付けは、S&P のウェブサイト www.spglobal.co.jp/ratings で閲覧できます。「格付け検索」から検索ボックスをご利用ください。

S&P グローバル・レーティング・ジャパン株式会社により付与されたグローバル・スケールの格付けは関係する信用格付け規制に従い、欧州で承認されています。

[S&P] 日本船主責任相互保険組合のアウトルックを「ポジティブ」に変更、格付けは「BBB」に据え置き

Copyright ©2024 by Standard & Poor's Financial Services LLC. All rights reserved.

本稿に掲載されているコンテンツ(信用格付、信用関連分析およびデータ、バリュエーション、モデル、ソフトウェア、またはそのほかのアプリケーションもしくはそのアウトプットを含む)及びこれらのいかなる部分(以下「本コンテンツ」)について、スタンダード&プアーズ・フィナンシャル・サービスズ・エル・エル・シーまたはその関連会社(以下、総称して「S&P」)による事前の書面による許可を得ることなく、いかなる形式あるいは手段によっても、修正、リバースエンジニアリング、複製、頒布を行うこと、あるいはデータベースや情報検索システムへ保存することを禁じます。本コンテンツを不法な目的あるいは権限が与えられていない目的のために使用することを禁じます。

S&P、外部サービス提供者、およびその取締役、執行役員、株主、従業員あるいは代理人(以下、総称して「S&P 関係者」)はいずれも、本コンテンツに関して、その正確性、完全性、適時性、利用可能性について保証いたしません。S&P 関係者はいずれも、原因が何であれ、本コンテンツの誤謬や脱漏(過失であれその他の理由によるものであれ)、あるいは、本コンテンツを利用したことにより得られた結果に対し、あるいは利用者により入力されたいかなる情報の安全性や維持に関して、一切責任を負いません。本コンテンツは「現状有姿」で提供されています。S&P 関係者は、明示または黙示にかかわらず、本コンテンツについて、特定の目的や使用に対する商品性や適合性に対する保証を含むいかなる事項について一切の保証をせず、また、本コンテンツに関して、バグ、ソフトウェアのエラーや欠陥がないこと、本コンテンツの機能が妨げられることがないこと、または、本コンテンツがいかなるソフトウェアあるいはハードウェアの設定環境においても作動することについての保証を含む一切の保証をいたしません。いかなる場合においても、S&P 関係者は、損害が生じる可能性について報告を受けていた場合であっても、本コンテンツの利用に関連する直接的、間接的、付随的、制裁的、代償的、懲罰的、特別なないし派生的な損害、経費、費用、訴訟費用、損失(損失利益、逸失利益あるいは機会費用、過失により生じた損失などを含みますが、これらに限定されません)に対して、いかなる者に対しても、一切責任を負いません。

本コンテンツにおける、信用格付を含む信用関連などの分析、および見解は、それらが表明された時点の意見を示すものであって、事実の記述ではありません。S&P の意見、分析、格付の承認に関する決定(以下に述べる)は、証券の購入、保有または売却の推奨や勧誘を行うものではなく、何らかの投資判断を推奨するものでも、いかなる証券の投資適合性について言及するものでもありません。S&P は、本コンテンツについて、公表後にいかなる形式やフォーマットにおいても更新する義務を負いません。本コンテンツの利用者、その経営陣、従業員、助言者または顧客は、投資判断やそのほかのいかなる決定においても、本コンテンツに依拠してはならず、本コンテンツを自らの技能、判断または経験に代替させてはならないものとします。S&P は「受託者」あるいは投資助言者としては、そのように登録されている場合を除き、行為するものではありません。S&P は、信頼に足ると判断した情報源から情報を入手してはいますが、入手したいかなる情報についても監査はせず、またデューデリジェンスや独自の検証を行う義務を負うものではありません。信用格付関連の公表物は、様々な理由により公表される可能性があり、その理由は必ずしも格付委員会によるアクションに依存するものではありません。格付委員会によるアクションに依存しない信用格付関連の公表物には、信用格付と関連する分析についての最新情報の定期的な公表などを含みますが、これらに限定されません。

ある国の規制当局が格付会社に対して、他国で発行された格付を規制対応目的で当該国において承認することを認める場合には、S&P は、弊社自身の裁量により、かかる承認をいかなる時にも付与、取り下げ、保留する権利を有します。S&P 関係者は、承認の付与、取り下げ、保留から生じる義務、およびそれを理由に被ったとされる損害についての責任を負わないものとします。S&P は、それぞれの業務の独立性と客観性を保つために、事業部門の特定の業務を他の業務から分離させています。結果として、S&P の特定の事業部門は、他の事業部門が入手できない情報を得ている可能性があります。S&P は各分析作業の過程で入手する非公開情報の機密を保持するための方針と手続を確立しています。

S&P は、信用格付の付与や特定の分析の提供に対する報酬を、通常は発行体、証券の引受業者または債務者から、受領することがあります。S&P は、その意見と分析結果を広く周知させる権利を留保しています。S&P の公開信用格付と分析は、無料サイトの www.spglobal.com/ratings、そして、購読契約による有料サイトの www.ratingsdirect.com で閲覧できるほか、S&P による配信、あるいは第三者からの再配信といった、他の手段によっても配布されます。信用格付手数料に関する詳細については、

[S&P] 日本船主責任相互保険組合のアウトルックを「ポジティブ」に変更、格付けは「BBB」に据え置き

www.spglobal.com/usratingsfees に掲載しています。